

熊本にいなながら、世界に学ぶ。

グローバル科目

熊本大学では、平成35年度までに外国人教員や海外でのキャリアを積んだ教員の割合を全教員の7割強とする目標を掲げています。

特に、グローバル教養科目を提供する、グローバル教育カレッジ・グローバル人材教育センターの教員は、海外教育経験者で構成されています。

グローバル科目は英語で行われる教養教育科目です。人文科学、社会科学、自然科学、学際科学等の領域の中から幅広く学ぶことで、本当に学びたいことを見つけていくことができます。

英語での講義・討議を通して語学力アップ、コミュニケーション能力アップにもつながります。熊本にいなながら、英語で世界に触れるチャンスです。



科目例

The Brothers Grimm – More than Fairy Tales! グリム兄弟～おとぎ話だけではない！

グリム兄弟は『グリム童話』の編集者であるだけでなく、文化学研究者であり、言語学者、辞書編集者、ドイツ語研究の創設者でした。技術的、経済的、社会的変革の時代である19世紀の、グリム兄弟の幅広い活動をみてみましょう。

Scientific and Technological Literacy for Environmental Problems Solving

環境問題解決のための科学技術リテラシー

どのような科学技術がグローバル(環境)問題を解決するのか、科学技術の概念や方法が環境問題解決にどのように応用できるのかについて学びます。現在のグローバル課題、特に環境問題の複雑さを理解することで、ためらうことなく科学技術の議論に参加できるようになるでしょう。



Japan's Challenges in Global Partnership

グローバル・パートナーシップと日本の課題

人道的活動やグローバル企業との連携、学生ボランティアや留学プログラム、国際的起業家精神、様々なグローバルネットワーク活動の多様な側面から、グローバル・コミュニティにおける日本の参加とリーダーシップの役割について検討します。

学生時代、スイスで日本語を学び、「JAPAN」というイメージができていたのに、実際に日本に来てみたらイメージと違ってました。ここには「いろんな日本」がありました。東京と熊本は違うし、都市と地方は違う。いろんな土地にいろんな暮らしや魅力がありますね。

言語はツールです。やっぱり、現地で「生の体験」をすることが大事なのです。

日本の学生たちのいいところは素直さと好奇心があるところ。でも、ちょっと勇気が不足していますね。勇気を出して、生のコミュニケーションと体験へと踏み出してほしいと思っています。

グローバル人材教育センター 小池 ウルスラ教授

Q & A

Q どのような学生が受講できるのですか？

A グローバルリーダーコースの学生を対象していますが、他の学部の学生も選択することが可能です。

Q 英語に不安がありますが、大丈夫ですか？

A 教員に質問・相談ができる「オフィスアワー」があります。講義は英語で行われますが、日本語がわかる教員もいますので、積極的に質問しましょう。

熊大キャンパスで、グローバルコミュニケーション！

海外から熊本大学への留学生も年々増加しています。
世界の留学生が集う熊大のキャンパスでは、今日も新たな出会いと交流が生まれています。

熊大への留学生数 **47**ヶ国・地域 **940**人
(平成27年11月現在)

